



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2009~2010)

- ・国際協会会長 『The Power of One』 「一つとなる力」
Kevin Comming (Canada カダ)
- ・アジア地域会長 『The Power of One』 「一つとなる力」
スローガン 「Dreaming Asia, Loving Asia」
「夢見るアジア、愛するアジア」
Chon Byung-Koo (Korea)
- ・西日本区理事 『すべてのいのちを大切に』
「Love & Care for All the Living Things」
-いのち・平和・環境- -Life, Peace, Environment
鈴木 誠也 (神戸ポートワイズメンズクラブ)
- ・六甲部 部長 『希望の^{ほしび}灯 となろう』 「Be the Light of Hope」
大田 厚三郎 (神戸西クラブ) - 地域社会を励ます活動を実践しよう -
- ・西宮クラブ 会長 浅野 純一 『奉仕活動を行えることに感謝し、力を合わせて今一步活動の輪を広げよう』

2010年6月

745号 60周年

63期-12

since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

- 会 長 浅野 純一
- 直前会長 濱 浩一
- 副会長(次) 馬場 一郎
- 副 会 長 岩田 健司
- 書 記 廣瀬 一雄
- 書 記 岡田 佑一郎
- 会 計 山本 常雄
- 会 計 足立 康幸
- 監 事 阪根 新
- 監 事 小野 勲紘
- 担当主事 三島 浩司
- 六甲部代議員 山口 政紀
- 部メネット主査 浜美智子
- 区事務局員 小野 勲紘

2010年6月 西日本区強調ポイント “ 評価・計画 ” 「今年度の評価反省を的確にまとめて、やりたいことと出来ることを見つけましょう。そこから次の計画が生まれるでしょう。鈴木誠也 理事(神戸ポート)

2010年6月第1例会のご案内

日時: 2010年6月18日(金) 19時~21時

場所: 西宮YMCA保育園3F

ドライバー: 山本常雄メン 岩田健司メン

1. 開会点鐘 浅野会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読
4. ゲスト紹介 浅野会長
5. 食前の感謝&会食
6. 評価09-10決算見込 浅野会長・会計
7. 計画・予算 馬場次期会長・次期会計
8. 誕生日のお祝い ドライバー
9. Y's ニュース・お知らせ 浅野会長
10. YMCA 報告 三島主事
11. 閉会点鐘 浅野会長

『主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。』
フィリピの信徒への手紙4章4~5節

清水 彬久メン 選

5月 例会出席状況	在籍会員数	19名
第1例会(5.14金)	第2例会(5.7金)	
メン 15名	メン	10名
メネット3名ゲスト1名	メネット	0名
合計19名 (出席率89.5%)	合計	10名

Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

13日 山口 洋子メネット

17日 岡田春美メネット

21日 浅野恭子メネット

西日本区強調月間リスト 通年 【PR】 ワイズのさまざまな活動を通じて、いのち・平和・環境を大切にす
るワイズメンズクラブのもうひとつの生き方・考え方、まわりの人には口コミで、地域にはマスメディアを巻
き込んで、アピールしましょう。ご覧ください。URL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

会長メッセージ 浅野純一会長

会長としてのメッセージも最後となりました。皆様のご協力により、何とかこの1年間、会長を務めました。会員になって4年6ヶ月が経過しましたが、ワイズのこと、会長になって少しはわかったように思います。

さて、先月の近江八幡クラブのプリテンの聖句に、「……人は自分の蒔いたものを、また刈り取るようになるのです」～ガラテヤの信徒への手紙6章7～が掲げられていました。この句はご存じの方も多いと思いますが、クリスチャンでない私が説教を聞かずに、勝手に聖句を自分なりの解釈していけないのですが、「自分の行ったことは、どこかで責任をとらざるをえない状況になる」との戒めの言葉として受け取っています。教員時代、聖句は引用していないのですが、自分のことはさておいて、このような戒めを、生徒にしばしば言いました。

なお、前記の句に続いて、9節の「善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる」という句に心ひかれています。厚かましくも、私は善いことをしようとしませんが、行動に際しての戒めとして大切にしていきたいと思っています。

五月 例会 報告

ドライバー 廣瀬一雄メン

今回はドライバー兼メンバ^ スピーカーの馬場貴英メンより次のメッセージを頂きましたので、例会報告とさせていただきます。

5月の例会では、「Eco 技術開発の現状」というタイトルでお話させていただきました。スピーカーもドライバーも初めての機会で大変緊張しました。

私は、入社した時から一貫して携帯電話向けの半導体開発に関係してきたため、低消費電力を目指す技術開発は、いわゆる世間のEcoへの関心の高まりとは無関係に取り組んできました。

『Panasonic においてはEcoの観点のない商品開発はありえない』というトップの指示が全社に下ったのは2008年です。その年に、DIGA、VIERAといった畑違いの商品の半導体開発に参加するようになり、消費電力削減に取り組んできました。

今回、自分の消費電力削減技術の開発と、社会的な背景の関係について改めて整理し、ディスカッションする機会を得た事は、自分自身にとって大変有意義だと思っています。あらためて感謝したいと思います。



故松下幸之助創業者が、水道哲学を経営理念として表明したのは、当時の日本の最大の問題は貧困であるという想いがあったからです。当時、豊かさの象徴こそが家電製品でした。ひるがえって21世紀の現在、グローバルな最大の問題の1つこそ、地球環境の問題ではないでしょうか。私たちは、快適な地球環境を、水道の水のような無料に等しいコストで手に入れられるという現状に、無神経すぎるのではないのでしょうか。自分達がどのようにエネルギーを消費し、環境に負荷をかけているかを、もっと知らなくてはならない。

今回の例会資料の準備を通して感じたこのことを、例会でのお話のまとめにさせてもらいました。

皮肉な事に、豊かさの象徴だった電気製品は、厳しい価格下落の波にさらされています。とはいえ、昔なら考えられないような価格で電気製品が生活の

隔々に行き渡る「豊かさ」にあふれた社会を作り出す事には成功しました。同じように環境問題も困難な問題ではありますが、高度環境技術社会はきっと実現できるはずだし、実現しよう、そうゆう現場の取り組みの雰囲気や気概を伝えられたかどうか、あまり自信はありませんが、同様の機会をもしまた得る事があれば、またチャレンジさせていただきたいと思いました。繰り返しですが、今回は貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。

西日本区だより-14

小野勅紘西日本区理事事務局スタッフ

「折りづるラン」第5便

2010年5月23日(日)16時15分に広島YMCAゴール



総出で出迎え頂いた広島西日本区大会実行委員会の皆様

2010年1月17日阪神淡路大震災の15周年の日に、神戸YMCAをスタートした「折りづるラン」は、5月23日(日)16時15分、334キロを走り抜いた大野勉ワイズが広島YMCAにゴールし、華々しくフィナーレを迎えました。

当日は理事キャビネットから、鈴木理事と私小野が駆けつけて当日開かれていた実行委員会の面々約30名が「折りづるランナー」を出迎えた。折りからの強風と激しい雨中を突いて、八本松駅からの28キロを走ってのゴールでした。東広島クラブの谷本交流主任のジョギング仲間と手を繋いで広島YMCAの玄関前に到着。

朝日新聞と中国新聞の記者さんも駆けつけて、取材をいただき、翌日の新聞に雄姿が掲載されました。その後全員で記念撮影し、4月18日に高石ともやさんと須磨ウェストバンドが開催した「平和を創り出すコンサ

ート」の収益金の一部が西日本区大会のために大野ランナーから、渡邊事務局長へ贈呈された。

この後、「折りづるラン」は東に踵を返して一路東海道を横浜に向かうこととなります。さっそく5月30日には「彦根」～天下分け目の「関が原」を走りました。彦根クラブ、名古屋クラブ、名古屋東海クラブからも援軍が駆けつけてランを盛り上げていただきました。この道は今から410年前に、石田三成率いる西軍が迎え撃つ東軍の徳川家康と一戦を交えた因縁の地でもあります。ここからまさに「関」を越えて「関東」に入っていくこととなります。皆さん一層の登録促進と支援をお願いいたします。

西日本区大会の機運も高まってきました。5月28日には最終の実行委員会に西日本区から鈴木理事はじめ上野、柏原、小野の4人が調整に行きました。成果を発揮した素晴らしい大会になることを期待しております。また大会終了後、今回の幹事となる広島で久しぶりの3クラブ合同例会が持たれます。広島クラブがIBCを締結するハワイオアフクラブからも6名が参加し、楽しみでもあります。第13回西日本区大会は現在755名の登録をいただき当日を待つばかりとなっています。

前期の準備期間から皆様に送ってまいりました私の「西日本区だより」も今回の14回を持って最終報告といたします。長らくお付き合いいただきありがとうございました。なお次回は西日本区活動を総括する号外版で大会のご報告をさせていただきます。(終り)

リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 今出川 友理絵さん

いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援 いただきありがとうございます。

4月25日にはトムソーヤの今年度初めての例会がありました。JR福知山線の廃線跡地へ行き、みんな楽しくハイキングをしました。カラッとした春

のさわやかな天候の中、初めはリーダー・メンバー共に少し緊張しているように見えてましたが、自然ビンゴ・電車クイズなどのプログラムをやっていく中で、だんだんと会話が増え、表情も柔らかくなってきたように思います。真っ暗なトンネルを懐中電灯をつけて進んだり、枕木の上から落ちないように歩いたり、川で遊んでいるグループもたくさんありました。子どもたちの楽しそうな姿を見て、また今年も、最後まで子どもたちの為に頑張っていこうと、改めて思った1日でした。

また、5月1日～3日のゴールデンウィークには、能勢キャンプ場でアウトドア・チャレンジキャンプがありました。17人と少人数のキャンプでしたが、カヌー・カヤック、アーチェリー、山登り、川遊びなど、たくさんのプログラムを2泊3日の中で行いました。そこでの子どもたちは、たくさんの自然と触れ合いながら、のびのびと自分の好きなことに興じていました。最後にはキャンプに来た全員がまるで家族の様に思えました。このような少人数のキャンプでは1人1人の関わりが多く持てるので、また違う楽しさがあると思えました。

これからもリーダー会一同頑張っていきたいと思しますので、ご支援よろしくお祈いします。

西宮YMCA保育園だより

三島浩司メン（保育園園長）
（西宮YMCA保育園だより5月号より）

5月の主題：感じる

4月のはじめ、毎年恒例の「泣き声」が保育園の中に響き渡っていました。新しく入園した子ども達の多くが新しい場所や人に「不安」や「戸惑い」といった感情の表れでした。これまでごく限られた生活環境の中で過ごしてきた子ども達にとっては、当然の感情です。けれども、このような感情も、保育園で過ごす時間が少しずつ長くなるにつれて徐々に薄れてきます。先生やお友達と生活し、オムツを交換してもらったりご飯を食べたり、また、一緒に遊んだりしていく中で、家以外の場所や家族以外の人の中でも安心して過ごしていけるのだということを感じることができるようになります。また、新入園児だけでなく、進級園児もひとつずつクラスが上がったことに「喜び」と共に環境の変化に「不安」を感じています。5月が近づく頃には、保育園の中の「泣き声」もずいぶん少なくなり、代わりに笑顔や笑い声が多くなってきますが、子ども達の中にはまだまだ「不安」や「戸惑い」が残っていると思います。この子ども達の「心の声」を

しっかり受け止めることができるよう「心の目」や「心の耳」を使って感じとって行きたいと思います。

5月は新緑の季節。六甲の山々の緑がとても美しい季節になりました。この六甲山も100年程前には人々が薪を切り出しすぎたために、ほとんど「はげ山」のようになっていたというお話を聞いたことがあります。その頃神戸を訪れた外国人が木を植え、今のような緑あふれる山に戻ったというのです。山々の木々、生き物、広大な海、そこに生きる生き物。そして、私たち人間も含め、これらすべて神様が作られたものです。旧約聖書の創世記に、神様が人間を作られ「海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」と言われたと書かれています。この「支配」は、「好き勝手にしてもよい」ということではなく、神様が造られたものを守っていく「守り人」となるようにということではないかと思えます。

神様が造られた、私たち人間も含めてこの地に満ちているすべてのものすべてを守っていくための働きができればと思います。

5月聖句：地はお造りになったものに満ちている。

（旧約聖書 詩篇104：24）



西宮YMCA 三島浩司メン
神戸YMCAでは、夏のキャンプの受付が始まっています。長期少年キャンプを初めとする長い歴史を持つキャンプから富士登山キャンプのように新しいキャンプまで様々なキャンプを企画しています。いずれのキャンプも根っここのところではYMCAの理念を大切にしつつ、子ども達の様々な興味の違いに呼应すべく企画されたものです。そして、この多くのキャンプを支えてくださるリーダーの皆さんもそれぞれのところでトレーニングやミーティングなどの準備を始めてくださっています。一人でも多くの子ども達に参加いただき、キャンプでの体験が豊かな成長の糧となることを願っています。ワイズメンズクラブの皆様も多くの子ども達が参加できるようにご支援、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

1. ゴールデンウィークの活動について

4月は寒い日が続きましたが、ゴールデンウィークはまずまずの天候で野外活動やキャンプには絶好の日和でした。余島では7家族によるファミリーキャンプ、また余島キャンプリーダーのトレーニングが

行われ、能勢では子ども達のキャンプと共に、新入リーダーのトレーニングが行われました。それぞれに豊かな春の自然の中で活動を進めました。それ以外でも通常業務を進めた部門があり、社会福祉法人では、4月29日の一日使った職員研修が三宮会館で行われました。

2. 台湾出張報告

4月30日から5月3日まで、水野総主事が台湾各地に出張されていました。近年、神戸YMCAと台湾各地のYMCAとの交流や協働が進んでいますが、元々のパートナーYMCAは高雄YMCAで30年を超える交流があります。しかし、この10数年間、高雄YMCAは財政的、また人事的な困難にあり、目だった交流はなく経過しています。この数年間、総幹事(総主事)であった謝さんが、この2月に急に退任され、今回、新たな総幹事にられたジョナー・コーさんにお目にかかれたそうです。ジョナーさんはYMCA経験がほとんどない中で財政再建に取り組まれるとのことでした。

5月1日には最近交流が進んでいる台南YMCAの創立55周年記念式典に招かれて出席されました。

5月2日には、台中YMCAで行われた神戸YMCAがお世話をしているOSCY(日本語教師派遣プログラム)の派遣教師との会合に出席され、それぞれに元気に活躍されている報告を伺い、課題などについて協議されました。また、午後にはICCPJ(国際キャンプカウンセラープログラム)のオリエンテーションと同じく台中YMCAで行われ、30名のリーダーたちにYMCAキャンプの特徴、日本のYMCAキャンプ場、日本での生活などについて説明をされました。ほとんど日本語が話せて、また意欲豊かな青年たちであったということです。今夏は、余島にその中から男性1名、女性2名の大学生ボランティアがやってきます。台湾YMCAとはその他に、日本語留学生の幹旋やハンドベルコンサートなど、いくつかのジョイントプログラムがあって、交流と協働が盛んに行われています。

3. 124回目の創立記念日

5月8日、午後に役員・職員合同研修会と夕刻から124周年の創立記念日礼拝が開催されました。両方とも、東京からお招きした坂口順治先生(東京YMCA名誉会員、元立教大学教授)に講師と奨励者を務めていただきました。

合同研修会では「YMCAのこれまでとこれから」というテーマで、YMCAの歴史について、カール・ロジャース、齋藤惣一、ジョン・R・モットという先人の活動

を原点として語られ、戦後の歩みを振り返り、現代の課題からYMCAの今後の活動へと示唆溢れる研修会となりました。ゲームやユーモアを交えながらの2時間の研修でした。役員や会員、職員など50名が参加しました。

また創立記念日礼拝では「受け継がれる信仰力」と題したメッセージを坂口先生からいただき、来年への思いを新たにしました。恒例のタイワークキャンプの報告、125周年へのアピールも含めて、ブレ125周年の記念日礼拝を豊に持つことができました。礼拝には140名の会員、職員が参加しました。

4. 台湾からのお客様

5月10日~11日、和歌山YMCAを会場として、日本と台湾YMCAによる日本留学のためのワークショップが開催されました。昨年、台湾で開催され、今回は日本で開催されました。台湾から9名の参加者があり、日本からも25名が参加し、日台YMCAの協働が更に進む、実りある会であったということです。この会に参加されていた台北YMCAのスタッフ3名が9日に来神され、神戸YMCAの見学と懇親の時を持ち、更に11日には、台中・台南・彰化YMCAのスタッフが来神され、同様に見学と懇談の時を持つことができました。特に台中YMCAからは総幹事(総主事)のトーマス・コーさんがお越しになり、近年協働しているICCPJ、OSCY、留学説明会など、神戸YMCAが主管している事業について、台湾サイドでは台中YMCAが主管していることもあり、懇談が進みました。日本語学校への勧誘に関しても、中国だけでなく、今後、台湾からの留学生の受入の拡大が大いに期待されま

5. 第1回社会福祉法人理事会・評議員会、開催

5月20日、社会福祉法人の理事会・評議員会が開催され、2009年度の事業報告及び決算報告、役員改選などが決議されました。社会福祉法人では、昨年度末で、YMCA保育園に163名、西宮YMCA保育園に73名、西神戸YMCA保育園に53名の園児が在籍し、毎日の保育を行なっています。また、太山寺児童館の運営も行ない、52名の学童保育をはじめ、様々な児童の活動を行なっています。財政的にも順調な推移をしていますが、西宮市における新園の計画もあり、準備が進められています。

6. 第1回常議員会、開催

5月21日、神戸キリスト教青年会の常議員会が開催され、2009年の神戸YMCA全体の事業報告、決算報告がなされました。特に財政逼迫の財団法人について意見をいただきました。また、5月28日に開催される定期総会について、役員(常議員・監事)の改選、同盟委員の選出、各委員会の委員選任などの人事案件、また125周年実行委員会の準備課題などが協議されました。

7. 今後の予定

- 1) 財団法人・学校法人・社会福祉法人合同役員会
役員改選後の3法人の役員(理事・監事)が一同に会し、神戸YMCA全体の課題について意見を交換いたします。役員の皆様はご予約ください。

日時: 6月14日(月) 18:30~20:30
場所: 神戸YMCA 4F サイコー亭

- 2) 第2回常議員会

日時: 6月25日(金) 18:30~20:30
場所: 神戸YMCA 4階 サイコー亭

- 3) 第25回午餐会

3月のマザー・テレサ写真展でマザーの写真が撮られた片柳弘史神父をお招きし、マザー・テレサのお話を伺います。写真展をご覧になった方々も、また見逃された方々も奮ってご参加ください。

日時: 7月10日(土) 12:00~14:00
場所: 神戸YMCA 4階 サイコー亭
テーマ: 「マザー・テレサは生きている

~小さなことに愛を込めて~」

講師: 片柳弘史さん(カトリック六甲教会神父)

会費: 1,500円(今年度から変更しています。)

*お申込は前もって、本部事務局までご連絡ください。

ワイスニュース

浅野純一会長

メネット会行事

「Afternoon Jazz Concert」 出演 Emy

日時 6月5日(土) 15:30~17:10

場所 イタリアン インク コンプス(国道二号線 東灘警察署向かい) 阪神御影駅北徒歩4~5分

会費 2,000円

3クラブ合同例会

とき: 2010年6月13日(日) 12:00~14:00 西

日本区大会の閉会后

ところ: 庭園レストラン “半べえ”

(〒734-0047 広島市南区本浦町 8-12、

Tel: 082-282-7121、Fax: 082-282-7122)

会費: 5,000円

7月の例会

第3金曜日に変更しています。

日時 2010年7月23日(金) 午後7時~

実施は第4金曜日に変更しています

場所 西宮YMCA保育園3階

水の流れのままに30

(俳句) 山野 直行(小野勲紘)

・夏木立 御堂雀が ^{しとね} 褥敷く

(御堂筋の緑生い茂る夏木立は、まさに夏来る感がある。本来御堂筋に飛び交う雀を御堂雀と呼ぶが、御堂筋のビジネス街で噂を飛ばす輩を総称して「御堂雀」とも呼ぶらしいが、ここは素直に本来の雀が夕刻になると木々の中に集まって「チュンチュン」と宣しい(かまびすしい)。そろそろ埒(ねぐら)を急いで褥(しとね)を敷く情報を交わしているのかも知れない。)

・^{もや}朝靄に 母が身支度 寿司仕込み

(亡き母の得意料理は、「ジャガイモのコンビーフ挟み焼き」と「バラ寿司(ちらし寿司)」であった。遠足や運動会ともなると午前4時起きで、エプロン姿に身支度した母が、熱い寿司飯を団扇で扇ぐ様子が、目覚めた寝ぼけ眼の目に浮かぶ。湯気模様があたかも朝靄に立ち込めた朝ぼらけに見えた恒例の光景であった。その家風は今も妹が引き継いでいる。)

・糠渦の ^京 埒を布る ^口 焼姥驪

(本来なら花の季節を狙ってタイムリーに訪とずれるはずであるが、相当遅れて京都は岡崎に遊んだ。蹴上げの浄水場から、疎水を下る十石舟が出ているので会社のOBたちと舟を楽しんだ。疎水沿いの花はすっかり散ってしまって葉桜になってしまっている。多分花はこのように咲いていたであろうかと想像しながらの花見は、やや情けない気分である。)

『神戸YMCA創立記念日礼拝』

と・・・ 堤 一幸メン

当日は120名を越える方々が神戸YMCAの124歳の誕生日をお祝いしました。

例年通り、まずは「くさぶえコーラス」の素晴らしい歌声に酔いしれました。

『受け継がれる信仰力』と題して東京YMCA名誉会員でおられる坂口順治氏より詩篇より読み説かさ

れました。

神は124年の神戸YMCAの歴史(信仰力)に『試練』をお与えになって、現在も続いているが大きな『勇氣』となって我々に『受け継がれている』と語れました。

また、神戸YMCAの遺産として「ボランティア元年の定義」「地域社会での共存」「危機的時代の人材教育」が背負っている...と語られました。確かに『重い(思い)』かもしれません。

しかし、「神戸YMCA124年」の『信仰力の一致』『地の塩』『世の光』を思い今後も歩いていきたい...と思うタベでした。

当日、西宮クラブからは山口メン、岡田メン、長井メン、山本メン、三島メン、堤が出席しました。



山本メンと堤はその後、早々に三宮会館を後にし、向かった先はメネットの皆さんがアフタヌーンジャズコンサートを開催される『Italian Dining コンパス』でした。当日は会場の下見(下味)と打ち合わせに集まっておられました。(浜メン・メネット、広瀬メン・メネット、山本メネット、宮路特別メン)

しばし、歓談しながら美味しい夕食とお酒と音楽にまたまた、酔ってしまいました

そ、そして、そこで聞こえてきたのはエミーさんの生歌、生演奏による『ハッピーバースディ』でした。

そうなんです！当日は私の38歳の誕生日でもありました～。

お集まりのみなさん、エミーさん、コンパスのみなさん、有難うございました。

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

近江八幡クラブ 安田博彦会長様

西宮クラブ 浅野純一会長様

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

広島クラブ会長 山本 晶子

近江八幡クラブ・西宮クラブ・広島クラブ

DBC 3 クラブ交流会のご案内

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第13回西日本区大会《広島》(2010年6月11日(金)～13日(日))では、近江八幡クラブ、西宮クラブの皆さまには格別なるご協力とご支援をいただき賜り感謝と御礼を申し上げます。

さて、大会終了後に予定していますDBC3クラブ交流会の詳細が下記の通り決まりましたのでご案内させていただきます。ご参加いただきますようお願い申し上げます。

今回は、広島クラブがIBCを結んでいますハワイ西オアフクラブからの6名も参加予定ですのでお楽しみ願います。

敬具

記

と き：2010年6月13日(日) 12:00～14:00

と ころ：庭園レストラン “半べえ”

(〒734-0047 広島市南区本浦町 8-12、

Tel: 082-282-7121、Fax: 082-282-7122)

会 費：5,000 円

庭園レストラン “半べえ” については <http://www.hanbe.jp/top.html> でご検索願います。

広島 YMCA 発着の送迎マイクロバスをご利用願います。帰路は広島駅を經由します。

広島クラブの山本会長から上記のご案内、そして区

大会実行委員長の広島クラブの赤羽メンから以下のご挨拶が届いております。

西宮クラブの皆様 こんにちは

第 13 回西日本区大会の実行委員長を仰せ付かった赤羽でございます。

日夜準備のために西中国部の準備委員一同頑張っております。

今大会に向けて、貴クラブは元より多くのメンバーが参加して下さることとなり、さらに力が入っています。

どのようにして広島らしさをアピールしようか、世界平和の願いと広島大会の楽しさをどのように調和させようかということ準備委員一同で熟考しております。

紙で作った折鶴とは言え、その重みを理解してもらいながらも、よく御存知のように明るく開放的な広島クラブのメンバー達と能天気な会話を楽しんでもいただきたいと思っております。

(能天気などは「気楽な」という解釈をして下さい)

又、貴クラブとは近江八幡クラブと共に「DBC 3 クラブ交流会」も企画しております。

この交流会には広島クラブがIBCを結んでいるハワイ西オアフクラブからも6名の参加が予定されており、私としては近い将来DBC 3クラブの交流会をハワイで行いたいくらいの気持で企画しております…。

どうか皆様、この原稿を広島大会に参加される前に目を通していただいて、大いなる期待をもって御来広されることを望んでおります。

これからも御厚誼の程よろしくお願い致します。

第 13 回西日本区大会実行委員長
広島クラブ 赤羽 克秀

トピックス・とびっくす25

廣瀬 一雄メン

小生は現在動物行政の仕事に携わっておりますが、環境省が平成19年3月に発行した“動物の保護及び管理に関する法律のあらまし”という小冊子から前回までの「動物の保護及び管理に関する法律」とは、に続いて紹介しましょう。

4 動物取扱業の規制

1 規制を受ける業種

業種	販売
業の内容	動物の小売及び卸売り並びにそれらを目的とした繁殖又は輸出入を行う業(その取次ぎ又は代理を含む)
該当する業者の例	小売業者 卸売業者 販売目的の繁殖又は輸出入を行う業者 露天

この欄は今月にて修了させていただきます。

編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

メネットからプリテンできているの? とのお尋ねがありました。原稿が届かないねん・・ということ
で首相も鳩山さんから菅さんに交代ですとか。

不定冠詞のAが付かないように頑張って・・

いよいよ11日~12日は西日本区大会。鈴木理事より仁科次期理事へのバトンタッチ。
上野書記、杉本会計、柏原事務局長、吉岡、大野事務局長の皆さん、そしてわが西宮クラブの小野事務局長さん、ご苦労様でした。

西宮クラブでも7月には浅野会長から馬場一朗次期会長への引き継ぎです。馬場メンは現役バリバリですので例会日程、行事日程など先さきに決められて、前の総理のように、ぶれないようお願いいたしますね。

わがクラブでの役割も異動があり、このプリテンも廣瀬から山本メンに変わります。ただし7月は六月中のお勤めですので小生が最後のお役をさせていただきます。早めの原稿をよろしく。